

愛知県海岸漂着物対策推進地域計画

平成23年8月

愛 知 県

愛知県海岸漂着物対策推進地域計画 目次

第1章 計画策定の背景及び目的.....	1
第2章 愛知県における海岸漂着物の現状と課題.....	2
2-1 愛知県における海岸漂着物の現状.....	2
1) 海岸漂着物の現状.....	2
2) アンケート調査による海岸漂着物量.....	4
3) 現地調査による海岸漂着物の現状.....	5
4) 各海岸における清掃活動.....	7
2-2 愛知県における海岸漂着物処理における課題.....	10
第3章 愛知県における海岸漂着物対策の基本理念と基本方針.....	13
第4章 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域.....	14
4-1 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域について.....	14
1) 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域.....	14
2) 重点区域の設定方法.....	14
3) 重点区域の範囲.....	15
4) 愛知県における重点区域の選定基準.....	15
5) 愛知県における重点区域.....	17
4-2 重点区域に関する海岸漂着物対策の内容.....	20
1) 重点区域における主な施策.....	20
2) 海岸漂着物の効果的な発生抑制に関する施策.....	21
3) 重点区域別地域概要.....	21
第5章 関係者の役割分担と相互協力に関する事項.....	42
5-1 関係者の役割分担.....	42
5-2 相互協力体制の確立.....	43
第6章 対策の実施にあたり配慮すべき事項及びその他海岸漂着物対策の推進に関し必要な事項.....	45
6-1 モニタリングの実施.....	45
6-2 災害時等の緊急時における対応.....	45
6-3 地域計画推進にあたって.....	45

第1章 計画策定の背景及び目的

愛知県は、伊勢湾から三河湾、遠州灘に至る約594kmの長い海岸線を有し、なかには国定公園に指定されるなど、良好な景観や環境の保全を行なうべき海岸が多くある。

海岸は陸と海が接し、多種多様な生物が相互に関係しながら生息・生育する貴重な場となっている。また、海水浴場等のようにレジャーやスポーツなどのレクリエーション活動や環境学習の場となっている。さらに、漁港・漁業、祭事、観光・保養地として利用されるなど経済活動にも重要な役割を果たしている。

このように海岸は、県民にとって、身近で重要な存在であり、生活・環境と経済活動を支えるかけがえのない共有財産である。

国においては、近年、日本海側を中心に海岸の大量の漂着物等に関する被害報告がなされ、海岸漂着物対策を総合的かつ、効果的に推進することを目的に「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律」(以下「海岸漂着物処理推進法」という。)が、平成21年7月に制定され、同法第13条に基づく「海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針」(以下「国の基本方針」という。)が平成22年3月に閣議決定された。

愛知県は、海岸漂着物処理推進法第14条に基づき、海岸漂着物対策推進のための地域計画である「愛知県海岸漂着物対策推進地域計画」を策定し、地域の実情と特性を踏まえ、海岸漂着物対策を推進することにより、海岸における良好な景観、多様な生態系、公衆の衛生など海岸環境の保全を図っていくものである。

第2章 愛知県における海岸漂着物の現状と課題

愛知県における海岸漂着物の現状と処理における課題に関して、既存調査結果等から取りまとめた。3ページ～12ページの市町村名は調査時のものを表記した。

2 - 1 . 愛知県における海岸漂着物の現状

愛知県における海岸漂着ごみの実態は、「海岸における一体的漂着ゴミ対策検討調査報告書 平成19年3月 国土交通省他（以下、「H18一体的漂着ゴミ対策調査」という。）及び愛知県が行った「関係市町村へのアンケート調査 平成22年1月」における調査結果を基に整理した。

1) 海岸漂着物の現状

H18一体的漂着ゴミ対策調査では、「水辺の散乱ゴミの指標評価手法」を用いて、愛知県内132地点で調査が実施された。調査結果は、汀線幅10m 当りの海岸漂着ごみ量（かさ容量）を20L ごみ袋に換算してランク0（0袋）からランク10（128袋）までの12ランクで評価されている。なお、ここでは、流木や海藻等の自然由来の漂着ごみは対象外としている。

調査結果の整理に当っては、「水辺の散乱ゴミの指標評価手法」においてごみが非常に多いとされるランク6以上を赤着色、20L ごみ袋1袋/10m に相当するランク3以上（ランク5以下）を青着色として整理を行った。

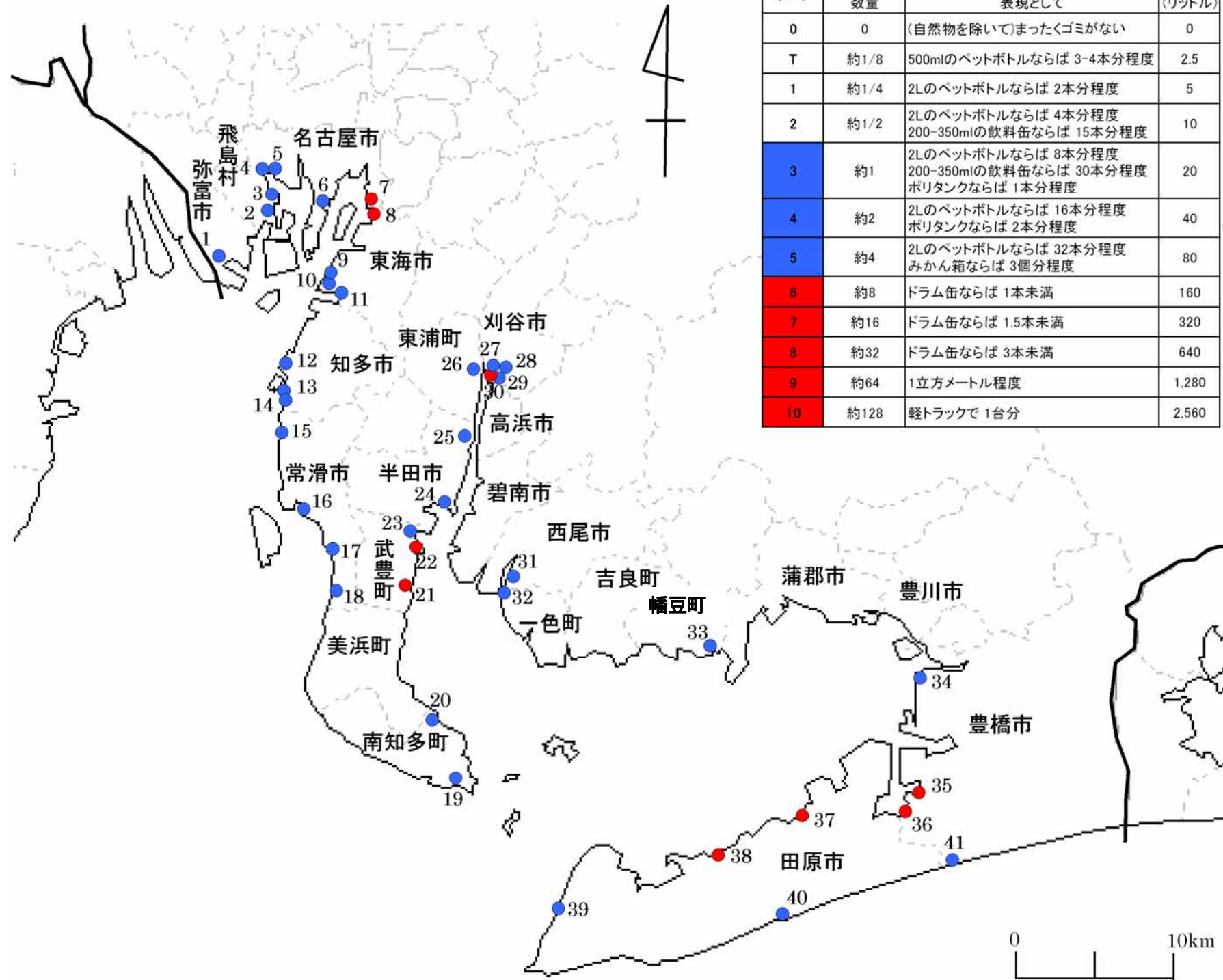
表2 - 1 ごみ量ランクと漂着量との関係

ランク	ゴミ袋の数量	回収した際のゴミのかさ容量の表現として	かさ容量(リットル)
0	0	(自然物を除いて)まったくゴミがない	0
T	約1/8	500mlのペットボトルならば3-4本分程度	2.5
1	約1/4	2Lのペットボトルならば2本分程度	5
2	約1/2	2Lのペットボトルならば4本分程度 200-350mlの飲料缶ならば15本分程度	10
3	約1	2Lのペットボトルならば8本分程度 200-350mlの飲料缶ならば30本分程度 ポリタンクならば1本分程度	20
4	約2	2Lのペットボトルならば16本分程度 ポリタンクならば2本分程度	40
5	約4	2Lのペットボトルならば32本分程度 みかん箱ならば3個分程度	80
6	約8	ドラム缶ならば1本未満	160
7	約16	ドラム缶ならば1.5本未満	320
8	約32	ドラム缶ならば3本未満	640
9	約64	1立方メートル程度	1,280
10	約128	軽トラックで1台分	2,560

出典：水辺の散乱ゴミの指標評価手法（国土交通省東北地方整備局、JEAN/クリーンアップ事務局及び特定非営利活動法人パートナーシップオフィスが2004年に共同開発）を基に作成

《凡例》

ランク	ゴミ袋の数量	回収した際のゴミのかさ容量の表現として	かさ容量(リットル)
0	0	(自然物を除いて)まったくゴミがない	0
T	約1/8	500mlのペットボトルならば 3-4本分程度	2.5
1	約1/4	2Lのペットボトルならば 2本分程度	5
2	約1/2	2Lのペットボトルならば 4本分程度 200-350mlの飲料缶ならば 15本分程度	10
3	約1	2Lのペットボトルならば 8本分程度 200-350mlの飲料缶ならば 30本分程度 ポリタンクならば 1本分程度	20
4	約2	2Lのペットボトルならば 16本分程度 ポリタンクならば 2本分程度	40
5	約4	2Lのペットボトルならば 32本分程度 みかん箱ならば 3個分程度	80
6	約8	ドラム缶ならば 1本未満	160
7	約16	ドラム缶ならば 1.5本未満	320
8	約32	ドラム缶ならば 3本未満	640
9	約64	1立方メートル程度	1,280
10	約128	軽トラックで 1台分	2,560



地点番号	市町村	海岸名	ランク
1	弥富市	弥富市鍋田地区(23弥富市3)	5
2		名古屋港海岸飛島地区(23飛島村3)	4
3	飛島村	名古屋港海岸飛島地区(23飛島村1)	5
4		日光川河口(23飛島村2)	4
5		南陽海岸	5
6	名古屋市	名古屋港汐止ふ頭地区(23名古屋市3)	5
7		名古屋港船見ふ頭地区(23名古屋市5)	7
8		東海市東海北地区(23東海市4)	6
9	東海市	東海市元浜地区(23東海市3)	5
10		東海市元浜地区(23東海市2)	4
11		東海市元浜地区(23東海市1)	3
12		知多市北浜地区(23知多市5)	5
13	知多市	知多海岸新舞子地区	4
14		知多市新舞子地区(23知多市3)	3
15		鬼崎漁港海岸	3
16	常滑市	常滑港海岸	5
17		荻屋漁港海岸	5
18		常滑海岸坂井地区	4
19	南知多町	南知多海岸豊浜師崎地区	5
20		豊丘漁港海岸	4
21		衣浦港海岸富貴武豊地区海岸	6
22	武豊町	衣浦港海岸富貴武豊地区海岸	6
23		衣浦港海岸富貴武豊地区海岸	3
24	半田市	衣浦港海岸半田地区海岸	3
25		衣浦港海岸洲の崎東浦地区海岸	4
26	東浦町	東浦海岸石浜地区	3
27		衣浦港海岸衣崎地区海岸	4
28	刈谷市	衣浦港海岸大津崎地区海岸	3
29		衣浦港海岸大津崎地区海岸	3
30		衣浦港海岸衣崎地区海岸	6
31	西尾市	中根海岸	3
32	一色町	大岡海岸	3
33	幡豆町	東幡豆・西浦海岸	3
34		豊橋海岸吉前・神野新田地区	5
35	豊橋市	豊橋海岸杉山地区	7
36		豊橋海岸杉山地区	8
37		田原海岸仁崎・白谷地区	6
38	田原市	渥美海岸宇津江・江比間地区	6
39		渥美海岸伊良湖地区	5
40		赤羽根漁港海岸赤羽根地区	4
41	豊橋市	田原・豊橋海岸大草・東赤沢地区	3

図2 - 1 愛知県における海岸漂着ごみランク3以上の海岸 (H18一体的漂着ゴミ対策調査)

表 2 - 2 各海岸の漂着状況

番号	市町村名	海岸名	漂着時期	漂着量 下記参照	ゴミの種類	最も多いゴミ	対応及び現在の状況
	美浜町	西部海岸全域 (伊勢湾側)	年間を通じてだが、 特に木曾川等の河 川上流部の大雨後 に多い。	1 (汀線幅10m当り 20Lゴミ袋で1袋相 当のゴミが存在)	ペットボトル、ペットボトル以外のプ ラスチック、ビン・缶類、漁具類、医 療器具、ポリ容器、流木、海藻、ラ イター	ペットボトル	海岸清掃を行ったが、繰り 返し漂着することで、現在も 漂着量が多い状態が続いて いる。
	南知多町	内海港海岸	H19.7月 中旬	3 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で32袋相 当のゴミが存在)	ペットボトル、ペットボトル以外のプ ラスチック、ビン・缶類、ポリ容器、 流木、海藻	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
		山海海岸	H19.7月 中旬	3 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で32袋相 当のゴミが存在)	ペットボトル、ペットボトル以外のプ ラスチック、ビン・缶類、ポリ容器、 流木、海藻	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
	吉良町	恵比寿海岸	H21.10	2 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で8袋相 当のゴミが存在)	流木、海藻	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
		宮崎海岸	H21.10月	3 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で32袋相 当のゴミが存在)	流木	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
	蒲都市	竹島海岸	毎年4 - 12月	2 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で8袋相 当のゴミが存在)	海藻	海藻	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
		三谷海岸	H21.10月	2 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で8袋相 当のゴミが存在)	ペットボトル以外のプラスチック、流 木	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
	豊川市	御津海岸	H21.10月頃	3 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で32袋相 当のゴミが存在)	流木	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。
	田原市	白谷海岸	H21.10月	3 (汀線幅10m当りに 20Lゴミ袋で32袋相 当のゴミが存在)	ペットボトル、ペットボトル以外のプ ラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポ リ容器、流木、海藻、ライター	流木	海岸清掃を行ったことによ り、現在の漂着量は少ない 状態となっている。

2) アンケート調査による海岸漂着物量

関係市町村等へのアンケート調査の結果、「過去5年間(平成17~21年度)にごみが大
量に漂着して特に問題となった箇所がある」と回答があったのは6市町の9海岸である(下
図参照)。

9海岸のうち美浜町西部海岸全域(伊勢湾側)を除く8海岸については、海岸清掃により
現在では漂着量が少ない状態となっている。

また、美浜町西部海岸全域(伊勢湾側)では、海岸清掃実施後においても、特に木曾川等
の河川上流部の大雨後は、繰り返しごみが多く漂着する。

漂着ごみの種類に関しては、美浜町西部海岸全域(伊勢湾側)ではペットボトルが最も多
く、蒲都市の竹島海岸では海藻が最も多く、その他の7海岸では流木が最も多くなっている。

各海岸の漂着状況を表2-2に示す。

漂着時期は、美浜町西部海岸全域(伊勢湾側)では年間を通じて、伊勢湾側では7月頃、
三河湾側では10月頃に漂着量が多くなっている。

番号	市町村名	海岸名	漂着量
	美浜町	西部海岸全域 (伊勢湾側)	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で1 袋相当のゴミが存在
	南知多町	内海港海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で 32袋相当のゴミが存在
		山海海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で 32袋相当のゴミが存在
	吉良町	恵比寿海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で8 袋相当のゴミが存在
		宮崎海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で 32袋相当のゴミが存在
	蒲都市	竹島海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で8 袋相当のゴミが存在
		三谷海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で8 袋相当のゴミが存在
	豊川市	御津海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で 32袋相当のゴミが存在
	田原市	白谷海岸	汀線幅10m当りに20Lゴミ袋で 32袋相当のゴミが存在

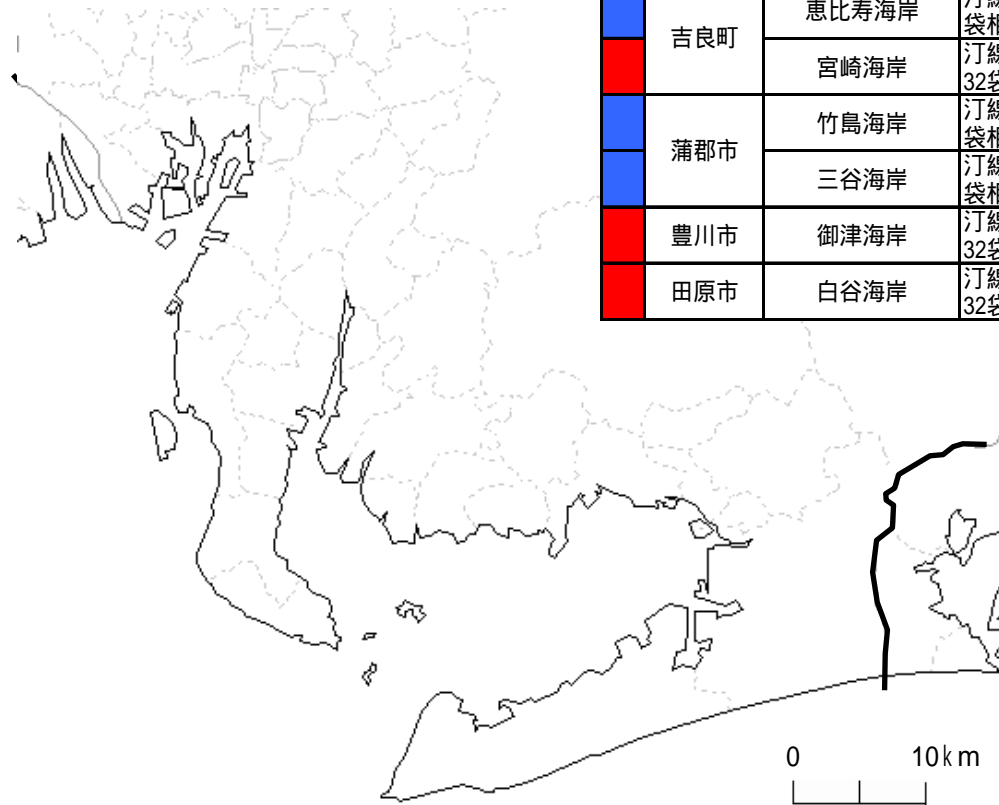


図 2 - 2 ごみが大量に漂着し問題となった海岸



3) 現地調査による海岸漂着物の現状

現地調査の概要

1. 現地調査の目的

海岸漂着物の現況を把握するため、各海岸において現地調査を実施した。

2. 現地調査実施期間

- ・現地調査：平成22年11月18日、12月7～9日

3. 現地調査の内容

- ・調査項目 写真撮影、 枠取り調査

- ・調査回数：各海岸1回

- ・調査地点 下図に示す13海岸

・枠取り調査の概略

各海岸において調査区域(10m×10m)を1箇所設定し、その区域内の漂着物を回収し、種類別に分けし、計量した。

種類区分は、生活系、漁業系、事業系、その他とした。

ただし、海草類は枠取り調査の計量対象から除外した。

主な調査内容

調査区域の設定

枠取り調査では、まず10m×10mの枠を設定した。

写真は、田原市仁崎海岸である。こうした枠取りは、他地区との比較のために、同一面積を確保するために行った。



海岸漂着物の収集・分類・計量

漂着物を集め、分類を行ったうえで、種類別に計量を行った。下の写真は、田原市伊良湖海岸での分類状況である。次ページに、各海岸毎に調査結果を示した。



分類内容

区分	細分または内容	区分	細分または内容	
生活系	飲料用プラボトル	漁業系	ロープ・ひも、うき・フロート・ブイ、その他漁業系	
	食品の包装・容器		事業系	農薬・肥料袋、木材、その他事業系
	生活雑貨			その他
	ふた・キャップ	流木		
	袋類(農業用以外)	その他(分類不能)		
	飲料缶			
	くつ・サンダル			
	飲料ガラス瓶			
	おもちゃ類			
	ライター			
その他生活系				

現地調査地点		
市町村名	海岸名	番号
美浜町	西部海岸全域	
南知多町	内海港海岸	
	山海海岸	
	篠島海岸	
	日間賀島海岸	
吉良町	恵比寿海岸	
	宮崎海岸	
蒲郡市	竹島海岸	
	三谷海岸	
	春日浦海岸	
田原市	仁崎海岸	
	白谷海岸	
	伊良湖海岸	

図2-3 現地調査地点

4) 各海岸における清掃活動

関係市町村等へのアンケート調査の結果、過去5年間(平成17~21年度)に27海岸において29の実施形態による海岸清掃活動が実施されている(下図参照)。

清掃活動の実施形態は、「住民ボランティア等民間団体による単独実施」が15海岸と最も多く、「自治体(愛知県や市町)と住民ボランティア等民間団体との共同実施」が8海岸、「自治体による単独実施」が4海岸となっている。その他、漁港工事の請負業者によるイメージアップ活動、環境教育(中学校)の一環としての清掃活動など2海岸である。

なお、参加人数及びごみの回収量は、各海岸において大きな違いが見られる。各海岸における海岸清掃状況を次頁以降に一覧表として示す。

番号	市町村名	海岸名	番号	市町村名	海岸名
1	知多市	新舞子海岸	9	南知多町	内海港海岸
2	常滑市	大野海岸	10	南知多町	山海海岸
3		榎戸海岸	11		武豊町
4		多屋海岸	12	武豊港附近	
5		りんくうビーチ	13	半田市	亀崎海浜緑地の海岸
6		坂井海岸	14	高浜市	芳川町地内
7		西部海岸全域(伊勢湾側)	15		青木町地内
8	美浜町	布土海岸全域(三河湾側)	16	碧南市	衣浦港
			17	一色町	一色漁港海岸一帯
		18	治明、細川、小薮、坂田新田、佐久島海岸		
		19	生田、千間海岸		
		20	吉良町	恵比寿海岸	
		21	宮崎海岸		
		22	幡豆町	幡豆町全域	
		23	蒲郡市	竹島海岸等	
		24	豊橋市	豊橋表浜海岸(二川漁港海岸、豊橋海岸、高豊海岸、田原・豊橋海岸)	
		25	田原市	白谷海岸	
		26		西ノ浜海岸	
		27		太平洋側海岸	

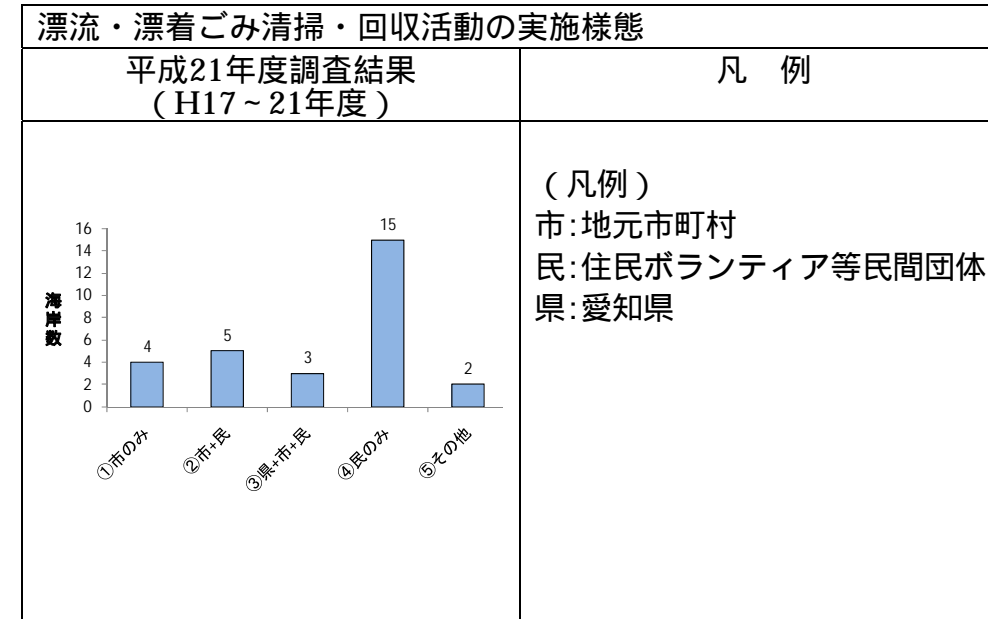
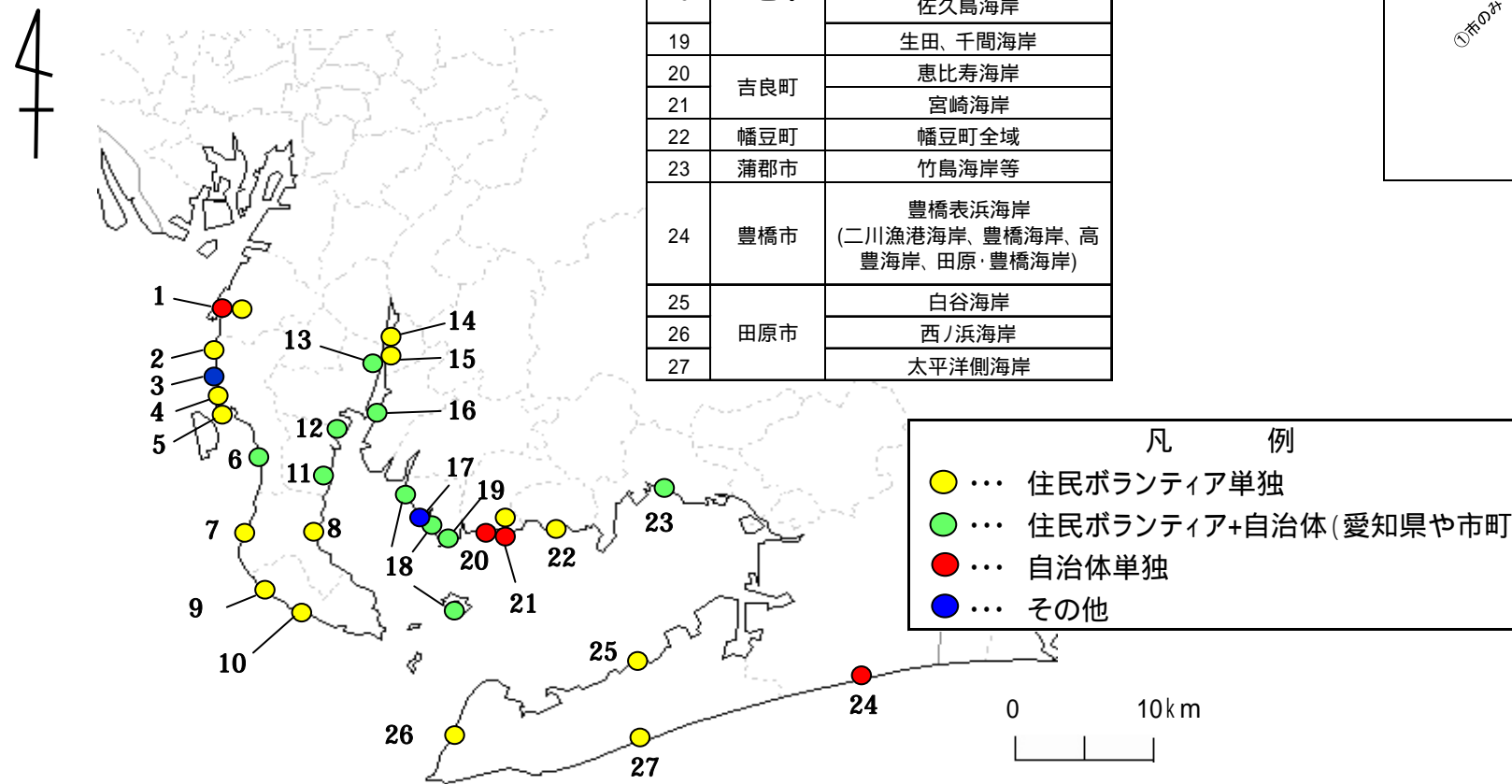


図2-4 海岸清掃活動が実施された海岸

表 2 - 4 (1) 海岸清掃活動状況一覧表 (平成 17 ~ 21 年度)

番号	市町村名	海岸名	実施形態	参加者	実施日	参加人数	ゴミの回収量	回収物の種類	最も多いゴミ
1	知多市	新舞子海岸	知多市による単独実施	知多市、出光フアンテック愛知、環境を良くする市民の会、青友海組合、ジャパソエナジー	通年	ボランティア 約200人	-	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木、海藻、ライター、蓄類、廃タイヤ、船の割れた破片	海藻
			住民ボランティア等民間団体による単独実施						
2	常滑市	大野海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	自治体主体のアダプト・プログラム団体	海水浴シーズン	-	-	-	-
3		榎戸海岸	漁港工事請負業者によるイメージアップ活動	宇佐美工業、ショウワ建設、小島組、丸茂建設	H21.11.1	66人	39,000㎡	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木、海藻、ライター	-
4		多屋海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	アダプト・プログラム団体	随時実施	-	-	-	-
5		りんくうビーチ	常滑市、愛知県及び住民ボランティア等民間団体との共同実施	職員とアダプト・プログラム団体	随時実施	-	-	バーベキューで使用したもの(缶・ペットボトル等)	-
6		坂井海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	アダプト・プログラム団体	随時実施	-	-	-	-
7		美浜町	西部海岸全域(伊勢湾側)	住民ボランティア等民間団体による単独実施	近隣住民など	随時実施	-	1回につき軽トラック1車程度	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、医療器具、ポリ容器、ライター
8	布土海岸全域(三河湾側)		住民ボランティア等民間団体による単独実施	近隣住民など	随時実施	-	1回につき軽トラック1車程度	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、医療器具、ポリ容器、ライター	ペットボトル
9	南知多町	内海港海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	天理教災害救援ひのきしん隊	H19.5.28	-	-	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、ポリ容器、流木、海藻、ライター	ペットボトル以外のプラスチック類
				内海地区	H19.6.10、8.26、10.22、H20.8.31、H21.8.30	-			
				南知多観光協会内海支部	H19.7.7~8.31、H20.7.4~9.1、H21.5.7、6.29~9.1	-			
				内海高等学校	H19.7.6	282名			
				内海小学校	H21.7.3	283名			
				内海漁業協同組合	H20.6.3、H21.6.23	-			
				株式会社ライフサポート	20、21年度中	-			
株式会社ライフサポート	H20.12.19、H21.11.10	-							
10	山海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	内海地区	山海小学校	H19.6.10、H20.8.31、H21.8.30	-	-	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、ポリ容器、流木、海藻	ペットボトル以外のプラスチック類
				山海小学校	H19.7.9、H20.5.21、7.7	-			
				松原老人クラブ松栄会	H19.9.20	-			
				南知多観光協会山海支部	H20.6.2~8.31	-			
11	武豊町	富貴港附近	武豊町と住民ボランティア等民間団体との共同実施	富貴中生徒、職員、地元自治体(3区)、町内企業(6社)、町内建設業者(6社)、各種ボランティア団体(3団体)、県及び町職員等	6月	676名	可燃300kg 不燃200kg	ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、流木、タイヤ5本、自転車2台	-
		武豊港附近	武豊町と住民ボランティア等民間団体との共同実施	武豊中生徒、職員、地元自治体(3区)、町内企業(7社)、武豊ライオンズクラブ、遊漁船組合、町内建設業者(6社)、明るい社会づくり運動、県及び町職員等	10月	728名	可燃1,040kg 不燃290kg	ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、流木	-

*) アダプト・プログラム：アダプトとは英語で養子にするという意味があり、アダプト・プログラムとは道路や公園などの公共施設を養子にみたくて、地元住民や地元企業のボランティアグループが里親として、道路や公園などを愛情と責任を持って清掃・美化する取組のこと



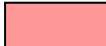

 ・・・・住民ボランティア単独	 ・・・・住民ボランティア+自治体(愛知県や市町)	 ・・・・自治体単独	 ・・・・その他
--	---	---	---

表 2 - 4 (2) 海岸清掃活動状況一覧表 (平成 17 ~ 21 年度)

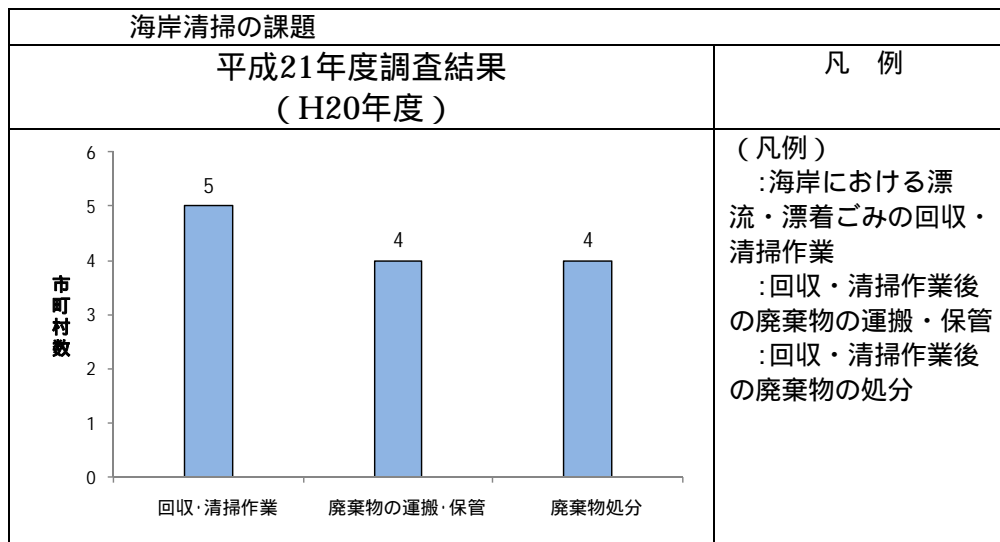
番号	市町村名	海岸名	実施形態	参加者	実施日	参加人数	ゴミの回収量	回収物の種類	最も多いゴミ
13	半田市	亀崎海浜緑地の海岸	半田市、愛知県及び住民ボランティア等民間団体との共同実施	市民	H21.7.11	1,500人	5,500kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木	流木
14	高浜市	芳川町地内	住民ボランティア等民間団体による単独実施	ボランティア団体、渡し場かもめ会	月1回程度	200人	100kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類	ペットボトル以外のプラスチック類
15		青木町地内	住民ボランティア等民間団体による単独実施	NPOポート高浜	2ヶ月に1回程度	20人	1,000kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、流木、海藻	流木
16	碧南市	衣浦港	碧南市、愛知県及び住民ボランティア等民間団体との共同実施	碧南市環境課、清港会	H21.5/26、9.1、9.18	60人	18,000kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、流木、海藻	流木
17	一色町	一色漁港海岸一帯	中学校の授業の一環として実施	一色中学校全校生徒、教職員	9月上旬	750人	1,880kg	ペットボトル、ビン・缶類、漁具類、流木	-
18		治明、細川、小菰、坂田新田、佐久島海岸	一色町と住民ボランティア等民間団体との共同実施	西三河漁業協同組合組合員	6~10月のうち6日間	のべ513名	3,500kg	ペットボトル、ビン・缶類、漁具類、流木	-
19		生田、千間海岸	一色町と住民ボランティア等民間団体との共同実施	衣崎漁業協同組合組合員	7~9月のうち2日間	のべ155人	880kg	ペットボトル、ビン・缶類、漁具類、流木	-
20	吉良町	恵比寿海岸	吉良町による単独実施	地元町民	年間通して定期的実施	約400人	49,000kg	流木、海藻	-
21		宮崎海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施 吉良町による単独実施	一般 施設管理協会	平成21.7 年間通して定期的実施	635人 250人	2,610kg 150,000kg	海藻 流木	海藻 流木
22	幡豆町	幡豆町全域	住民ボランティア等民間団体による単独実施	漁業者	5~10月に6回程度	約100人	-	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、ポリ容器、流木	-
23	蒲郡市	竹島海岸等	蒲郡市と住民ボランティア等民間団体との共同実施	蒲郡市、浜町クリーンアップ委員会、ライオンズクラブ等	H17.5.29、9.3 H18.8.28、9.24 H19.5.27、9.30 H20.6.1、9.28 H21.5.24、9.27	2,618人 3,217人 3,692人 3,240人 2,247人	9,704kg 10,908kg 9,618kg 6,740kg 5,213kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、可燃ごみ	-
24	豊橋市	豊橋表浜海岸 (二川漁港海岸、豊橋海岸、高豊海岸、田原・豊橋海岸)	豊橋市による単独実施	地元住民、海岸利用者、ボランティア等	月1回:4~6月、9~12月 月2回:7、8月	1,385人	8,050kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、電化製品、タイヤ	ビン・缶類
25	田原市	白谷海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	汐川を美しくする会 愛知海運産業株式会社	H21.11.15	1,200人	2t車 50台	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木、海藻、ライター	流木
26		西ノ浜海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	亀の子隊	月に1度	-	4.5t	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木、海藻、ライター	-
27		太平洋側海岸	住民ボランティア等民間団体による単独実施	表浜自然ふれあいフェスティバル実行委員会	H21.12.13	2,000人	3,040kg	ペットボトル、ペットボトル以外のプラスチック、ビン・缶類、漁具類、ポリ容器、流木、海藻、ライター	-

. . . 住民ボランティア単独
 . . . 住民ボランティア+自治体 (愛知県や市町)
 . . . 自治体単独
 . . . その他

2 - 2 . 愛知県における海岸漂着物処理における課題

海岸清掃等の課題

平成20年度における海岸清掃等で自治体が課題があると回答があったのは蒲郡市はじめ6市町である。課題として、「海岸における漂流・漂着ごみの回収・清掃作業」をあげたのが5市町、「回収・清掃作業後の廃棄物の運搬・保管」をあげたのが4市町、「回収・清掃作業後の廃棄物の処分」をあげたのが4市町である。



海岸における漂流・漂着ごみの回収・清掃作業の課題

海岸における漂流・漂着ごみの回収・清掃作業の課題について下記に示す。

市町村	課 題
美浜町	可燃物、不燃物等に分別して回収してもらうよう依頼しているが、汚れていることもあり分別が不十分であったり、クリーンセンター（処分施設）では処分できないものを回収し、持ち込み時にトラブルになったり、処分に困っている。 また、清掃活動をしたごみを海岸に集めたまま放置されている場合があり、困っている。
碧南市	海岸漂着ごみについて水分を多く含むため直接処理施設に投入できない。 漂着ごみ分別の手間がかかる。
吉良町	台風・大雨などで、海水浴場に多くの漂着ごみが打ち上げられ、海水浴シーズンは不快感をもたれて海水浴客の減少につながる。 漂着ごみを回収する際の人件費や重機等の借上料が高く、困っている。
蒲郡市	大量に発生したアオサについて手作業で回収するため、費用がかさむ。
田原市	ボランティアによる清掃活動が行われない海岸には漂着ごみが流れ着いたままになっている。清掃活動により一時的にきれいになるが、しばらくするともとに戻ってしまうため、継続的にきれいな状態を保つことが難しい状況である。

回収・清掃作業後の廃棄物の運搬・保管の課題

回収・清掃作業後の廃棄物の運搬・保管の課題について下記に示す。ごみの種類ごとに「流木」（3市町）、「海藻」（2市町）、「ペットボトル」、「ペットボトル以外のプラスチック類」、「ビン・缶類」、「医療器具」、「不特定」（各1市町）となっている。

市町村	種 類	課 題
美浜町	流木	量が多い場所や、大きなものはあらかじめ運搬せずに対応を検討する必要がある。
吉良町		
蒲郡市		
吉良町	海藻	海水浴場に設置してあるコンテナに一時的に保管してあるが、回収回数が多く費用がかかる。また、量も多く重機等を使用し回収しているため、費用がかかる。
蒲郡市		運搬の費用がかさむ。
吉良町	ペットボトル	海水浴場に設置してあるコンテナに一時的に保管しているが、回収回数が多く費用がかかる。
吉良町	ペットボトル以外のプラスチック類	
吉良町	ビン・缶類	
美浜町	医療器具	危険な注射針などの扱いは特に注意してもらっている。なお、一般的にはクリーンセンター（処分施設）では処分できないものであるため、それを見つけた場合、回収を行わずに散乱場所の連絡をしてもらっている。
碧南市	不特定	回収後の運搬費用がかさむ。

回収・清掃作業後の廃棄物の処分の課題

回収・清掃作業後の廃棄物の処分の課題を下記に示す。

市町村	種類	課題
美浜町	流木	クリーンセンター（処分施設）では、破砕ができない大木であったり、量が多かったり、いろいろなものが混じっていたりすると処分が簡単にできない場合がある。
一色町		太さが10センチ、長さが2メートルを超える木はクリーンセンター（処分施設）に搬入することができないので、小さく切断するなど手間がかかる。
蒲郡市		燃やせるものは燃やしているが塩分を含んでいるので、温度調節が難しい。燃やせないものは処分場にて野ざらしにしているが、中々腐らない。
田原市		海岸には、多くの流木が流れ着いているが、市では受け入れていないのが現状で、処分をできていない。
一色町	海藻	回収した海藻は乾燥してなく、また砂等の付着物が多いため、焼却処分が出来ない。また、腐敗している場合もある。
蒲郡市		廃棄物として埋め立て処分するが、処分場からの悪臭の発生抑制、埋め立て場所の確保が難しい。
田原市		他のごみに付着している程度のもものは、燃やせるごみとして処理しているが、海藻そのものは受け入れておらず、処分できていない。
田原市	漁具類	漁具類の中でも、漁業で使用されているような網が流れ着いている。網は、破砕処理しているが、機械が破損する原因にもなっている。

第3章 愛知県における海岸漂着物対策の基本理念と基本方針

愛知県の海岸における良好な景観及び生物の生態環境等の保全や海岸漂着物の円滑な処理等を行っていくための基本理念と基本方針を以下に示す。

基本理念

海岸が県民共有の財産として県民の健康で文化的な生活の確保に重要な役割を果たしていることを踏まえ、現在及び将来の県民が海岸のもたらす恵沢を享受することができるよう、良好な景観、生物の多様性、公衆の衛生等の海岸の環境について、その良好な状態の保全を図るものとする。

基本方針

1. 多様な主体の適切な役割分担と連携の確保

国、県、海岸管理者等、市町村、民間団体等海岸漂着物に関わりのある多様な主体が地域の実情に応じた適切な役割分担を行うとともに、各主体相互の情報共有等を行いながら、連携していく体制の確保に努める。

2. 海岸漂着物等の円滑な処理の推進

海岸漂着物等が集積することにより、現に海岸の景観や生活・自然環境の保全に支障が生じている地域においては、円滑な処理をすすめることにより、海岸の清潔保持及びその海域への流出防止に努める。

3. 海岸漂着物等の効果的な発生抑制

県及び市町村は、3Rの推進による循環型社会の形成やごみ等の不法投棄防止を推進し、発生抑制を行うことで海岸漂着物等の削減に努める。

また、環境学習や普及啓発を通じて、広く県民に海岸漂着物の問題認識をうながし、発生抑制への理解促進と環境保全の意識高揚に努める。